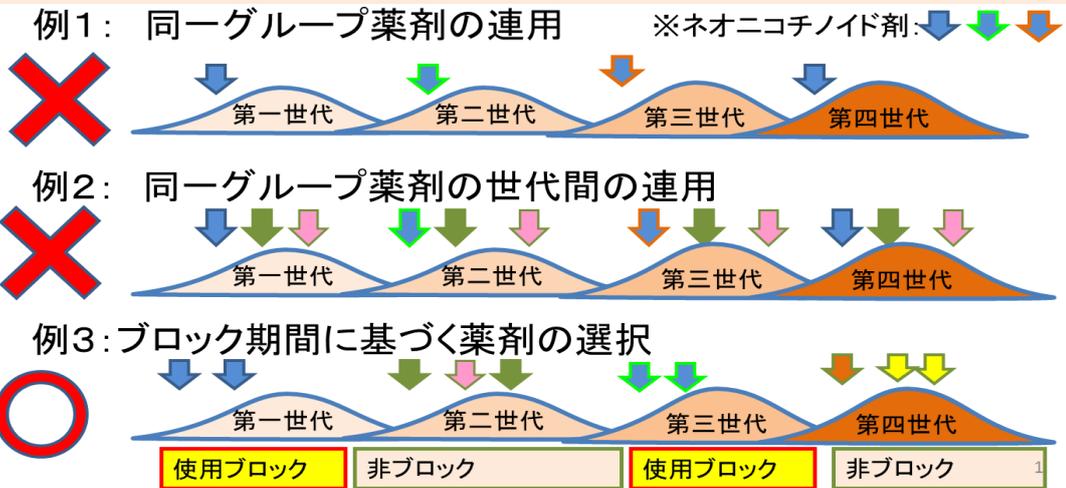


殺虫剤抵抗性管理方法(概要)

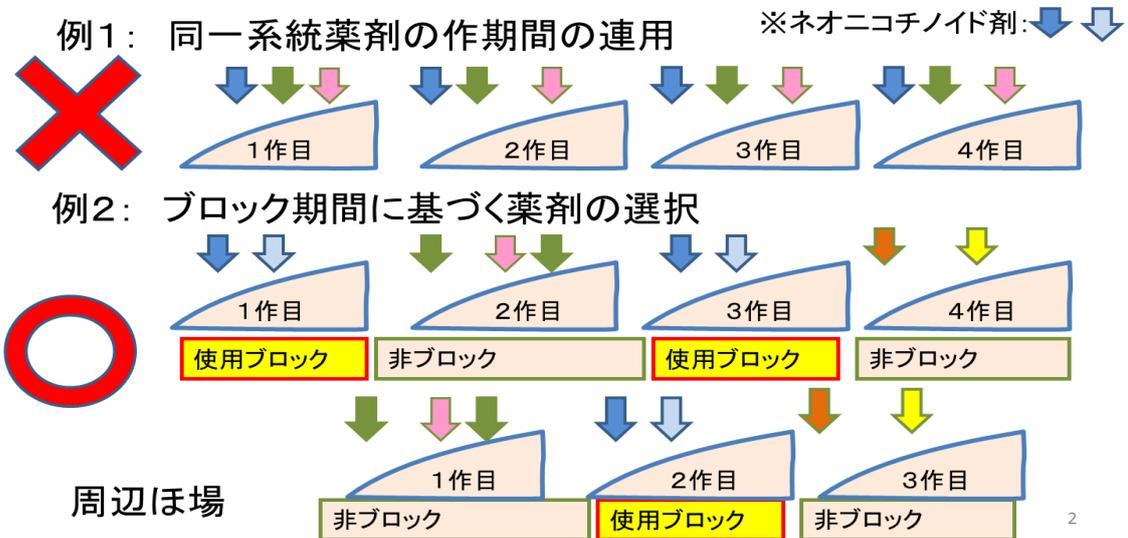
◎薬剤ローテーションの考え方(ネオニコチノイド剤)

- 害虫の連続する世代に同じグループの薬剤を使用しない
- 害虫の一世代をブロックとし、同じグループの薬剤の使用期間を50%以下に制限
- 同一世代では同じ薬剤を複数回使用してもよい



◎薬剤ローテーションの考え方(ネオニコチノイド剤)

- 栽培期間が短い作物が連続して栽培される場合は、1作期を1ブロックと考える
- 地域で統一することが望ましい

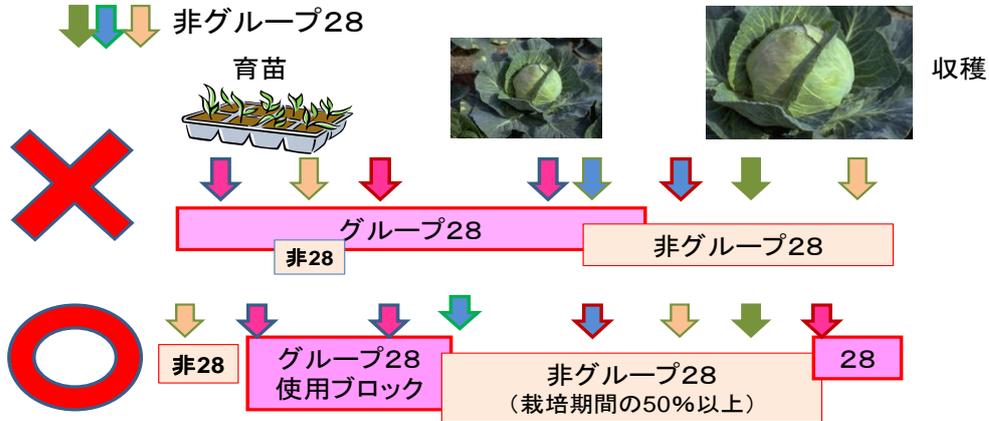


グループ28(ジアミド系剤)の管理ガイドライン(野菜)

- 使用時期ブロック＝同一作用機構の薬剤を1～数回処理し、残効が切れるまでの期間
- 害虫一世代(野菜害虫では約30日)をブロックとし、殺虫剤の使用期間を制限する

↓ ↓ グループ28(ジアミド系:プレバソン、サムコル、フェニックス)

↓ ↓ ↓ ↓ 非グループ28



グループ28(ジアミド系剤)の管理ガイドライン(果樹)

- 害虫の複数世代にまたがって使用しない。

↓ ↓ グループ28(ジアミド系:プレバソン、サムコル、フェニックス)

↓ ↓ ↓ ↓ 非グループ28

